

■電波の使用に関する注意

本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の工事設計認証を受けています。したがって本製品の使用に際しては、無線局の免許は必要ありません。

- 本製品の無線装置は、日本国電波法に基づく認証を受けていますので、本製品の分解や改造はしないでください。適合した製品や部品の分解や改造を行うと、法令により処罰の対象になることがあります。
- 本製品は、日本国電波法に基づいて設計・製造をしており、日本国内使用の目的で認証を受けています。そのため日本国内専用であり、日本国外に輸出することはできません。

■本製品の使用による免責事項について

本製品は 2.4GHz 帯の無線データ通信を行っております。当社は下記用途に対する一切の責任を負いかねます。

- 医療機器やその周辺、または航空機器や航空機内などへの使用。
- 故障・誤動作が人命に関わる機器などの、高度な信頼性が要求される用途への使用。

上記のほか本製品の故障・誤動作によるその周辺への損害、または取り付け方法やお客様側の過失による損害、あるいは停電・落雷やそのほかの災害など、外部要因で生じた経済的・人的損害に対する一切の責任も負いかねます。

お手入れ方法

安全に使用するため、以下の方法で定期的に清掃してください。

- 清掃する際は必ず電源を切り器具が冷えたことを確認してから行ってください。
- 器具のすき間に金属や可燃物を差し込んで清掃をしないでください。内部に残った場合に、発火や火災の原因になります。
- 清掃には、水または薄めた中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞って使用してください。そのあと洗剤が残らないように水拭きしてください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。破損、変色の原因になります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証期間

保証期間は、お買い上げ日より5年間です。24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分を保証期間となります。
※物件または使用環境により保証内容が異なる場合があります。詳しくは担当営業にお問い合わせください。
保証期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店にて、お買い上げ日を特定できるものをご提示の上、修理をご依頼ください。無料にて修理させていただきます。保証期間内でも有料になる場合があります。詳しくは保証規定をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

当社は本製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはLED照明サポートコールにお問い合わせください。

保証規定

保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。

- ①使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- ②お買い上げ後の取り付け場所の移設・輸送・落下などによる故障および損傷
- ③火災・地震・水害・落雷・その他天災地変・異常電圧・指定外電源(電圧・周波数)の使用などによる故障および損傷
- ④車両・船舶などに搭載された場合に生ずる故障および損傷
- ⑤施工上の不備に起因する故障や不具合
- ⑥法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障および損傷
- ⑦日本国以外での使用による故障および損傷



マルチセンサー 無線制御 LiCONEX 対応 (人感センサー・照度センサー・中継機)

無線制御LiCONEXの運用開始の設定は当社専門スタッフでの作業が必要です

このたびはアイリスオーヤマ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。取扱説明書を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。またこの取扱説明書は大切に保管してください。

施工説明書

取扱説明書 保管用

日本国内専用

電気工事必要

本製品の取り付け工事は、必ず電気工事店(有資格者)にご依頼ください。資格を持たない方による電気工事は、法令で禁止されています。

安全上の注意

ここに示した注意は、お使いになる方や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

図記号の意味



注意を促す記号



してはいけない
[禁止]内容



しなければならない
[指示]内容

施工担当者様へ

●工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●電源は定格電圧・定格周波数で使用する
本照明器具は日本国内のAC100～242V(電圧変動±6%以内)、周波数50/60Hz専用です。それ以外の電源で使用すると、LEDチップの短寿命や火災の原因になります。

●接地(アース)工事を確実に
本製品には接地工が必要です。入力電圧が150V以上300V以下のものはD種(第3種)接地工事を「電気設備技術基準」に準じて行ってください。接地工が正しくないと、感電や重大事故の原因になります。

●施工は施工説明にしたがい確実に
施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規定などの法令や条例にしたがい作業してください。施工が正しくないと、落下・感電・火災の原因になります。

●本製品の質量に耐える場所に取り付ける
取り付け部の強度が十分でないと、落下による火災や感電の原因になります。

●水平天井に取り付ける
器具は、水平天井に取り付けてください。壁取り付けなどされますと、器具落下・感電・火災の原因になります。

●取り付けおよび保守・点検作業の際は必ず電源を切る
通電した状態で取り付け工事などを行うと、感電や照明器具が破損する原因になります。



禁止

●破損しているものを取り付けない
感電・火災・落下・けがの原因になります。

●酸や塩素などの腐食性ガスの発生する場所、さびやすい場所には取り付けない
腐食や落下の原因になります。

●本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災・感電の原因になります。

●粉塵・オイルミスト・引火性ガス・虫が発生する場所には取り付けない
発熱・発煙・火災の原因になります。

●可燃物の近くや熱源の真上に取り付けない
ドアや建具の開閉範囲の近くに取り付けないでください。被照射物の変形・変色や火災の原因になります。また暖房器具の真上に取り付けると、本製品が過熱し、火災・感電・落下の原因になります。

●分解や改造はしない
本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

●特殊な施工(断熱・防音など)天井に取り付けない
特殊な断熱構造などの天井に施工すると、火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



必ず実施

●屋内の適正温度(5℃～35℃)に設置する
屋外や高温で使用すると、感電・火災・短寿命の原因になります。



禁止

●指定以外の取り付け姿勢で使用しない
落下・破損・故障の原因になります。

●本製品単独で使用しない
別売の「ベースモジュール」とLiCONEX対応の照明シリーズとセットでご使用ください。



禁止

●雨水のかかる場所、湿気の多い場所には取り付けない
水滴や湿気により絶縁不良になり、漏電・感電の原因になります。

●高温の場所、直射日光の当たる場所には取り付けない
劣化・腐食・落下の原因になります。

●過度な力を加えたり、過剰な力のかかることや、振動・衝撃のある場所に取り付けない
破損や落下により、けがの原因になります。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510
仙台市青葉区五橋2丁目12番1号

法人向けLED照明
ホームページ

<https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/>

製品に関するお問い合わせは(通話料無料)

LED照明サポートコール

0800-111-5300

(受付時間) 平日9:00～22:00、土・日・祝日9:00～12:00/13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAXでのお問い合わせは(通話料無料)

0800-111-9300

Webからのお問い合わせは

(メールフォームにご記入のうえ送信してください) <https://www.irisohyama.co.jp/led/houjin/contact/>

お客様へ ●安全に長くお使いいただくために大切な内容です。必ずお読みください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

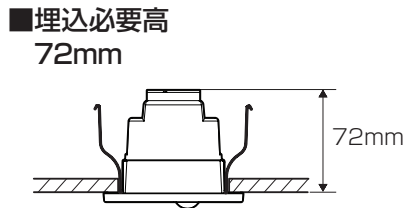
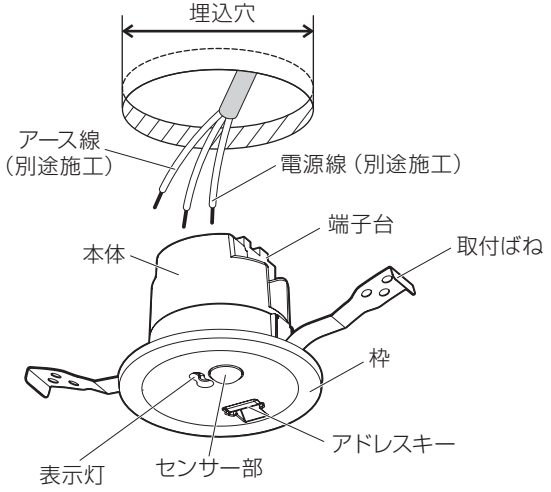
注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

- 必ず実施** ●作動異常の際は電源を切る
異常を感じたときはすみやかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になることがあります。
- 禁止** ●可燃物を近づけたり、本製品の真下に熱源を置いたりしない
本製品を布や紙などの可燃物で覆ったりかぶせたり、可燃性の木製・樹脂製の家具を近づけたりしないでください。また真下に暖房器具などの熱源を置かないでください。変形・変色・火災の原因になります。
- 破損したものを使用しない
本製品が破損した状態で使用しないでください。すみやかに電源を切り、工事店・電気店に相談してください。継続使用すると感電・火災・落下・けがの原因になります。
- 分解や改造はしない
本製品の分解・改造、部品の追加・変更、塗装などはしないでください。落下・感電・変形・火災の原因になります。

- 禁止** ●定期的に点検する
3年に1回は専門家(工事店・電気店)による点検を実施してください。設置して8~10年*経つと、外観に異常がなくても劣化は進行します。点検せずに長時間使用を続けると、まれに発煙・発火・感電などの原因になります。
*使用条件: 周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3,000時間点灯した場合。(JIS C8105-1解説による)
- 屋内の適正温度(5℃~35℃)に設置する
屋外や高温で使用すると、感電・火災・短寿命の原因になります。
- 本製品のすき間に金属や可燃物などを差し込まない
火災や感電の原因になります。
- 点灯中・消灯直後に触れない
点灯中や消灯直後は、器具とランプが高温になっていることがあるので触れないでください。やけどの原因になります。

各部の名称と寸法 (説明図は、一部を省略抽象化した図です。)(不足している部品がある場合は、お買い上げ店、またはサポートコールまでご連絡ください。)

※図は一部簡略化した図です。



注意 器具が天井内の造営材やダクトなどの設備に触れないようにして取り付けてください。

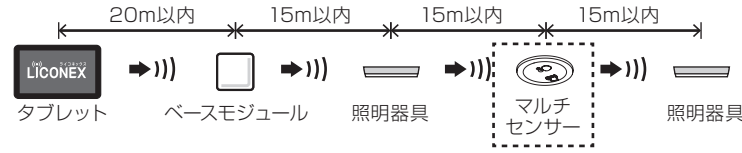
仕様

品番	定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	入力電流 (A)	主材質	器具質量 (kg)
IRLI-MS-V2	AC100~242	50/60	0.5	0.011	スチール ポリカーボネート	約0.16

※商品の仕様は予告無く変更することがあります。

中継機としての使用について

LiCONEX の無線通信は通信距離に制限があります。ベースモジュールから灯具の距離や、灯具同士の距離が15m以上離れる場合、マルチセンサーを中継機として使用することができます。



故障かな?と思ったときは

- センサーの動作がおかしいと思ったときは、以下の点を確認してください。
- 処置した後も異常がある場合は、必ず電源(壁スイッチなど)を「切」にして、お買い上げの販売店、電気工事店、またはLED照明サポートコールにご連絡ください。

状態	考えられる原因	処置
周囲が暗くなってLEDライトが点灯しない	→ センサーにLEDライト自体の光が入っている	→ 光が入らないようにしてください。*1
(人感センサーモード)人が近づいてもLEDライトが点灯しない	→ 人感センサーモードになっていない	→ タブレットなどで、人感センサーモードをONにしてください。
	→ 人感センサーは熱を感知するため、コートなど、厚手の服を着込んでいると体温が感知されず、反応しない場合があります。*2	
	→ 人感センサーのレンズ表面が汚れている	→ 柔らかな布で軽く人感センサー部分の汚れを落としてください。
LEDライトが点灯したまま減灯・消灯しない	→ 動作設定照度よりも周囲が明るい	→ 周囲が暗くなると点灯します。
	→ 人感もしくは照度センサーモードになっていない(表示灯が緑点滅になっている)	→ タブレットなどでセンサーモードをONにしてください。
人が近づかなくてもLEDライトが点灯する	→ 感知エリアに暖房などの熱源がある	→ 感知エリアから熱源を取り除いてください。*2
	→ 感知エリア内に、エアコンや扇風機の風がふいている	→ 感知エリアから動くものを取り除いてください。
感知エリアに人がいるのにLEDライトが消える	→ 人の動きがない、あるいは動きが小さい	→ 人感センサーは人の動きに反応します。手を振るなど簡単な動作をしてください。
	→ 周囲が明るくなった	→ 周囲が暗くなると点灯します。

*1 光を反射しやすい床面や壁面がある場所に取り付けると、LEDライト自体の光が反射して誤動作(減灯または消灯)します。このような場合は、床面や壁面で光が反射しないようにしてください。

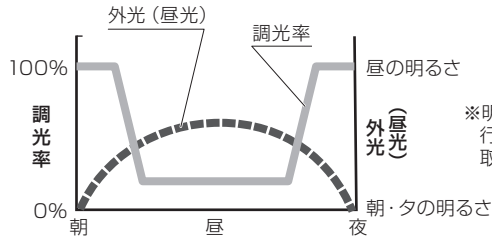
*2 人感センサーは赤外線感知方式となっています。これは感知エリア内の熱変化(温度変化)を感知する方式です。このため、感知エリア内でのエアコンや扇風機の風で動くものにも反応します。また、冬季に厚手の服を着ている場合、体温を感知しにくくなり、人感センサーが反応しないことがあります。

センサー機能について

■照度センサーモード

設定した明るさを記憶し、外光（昼光）により部屋の明るさが変動すると、灯具の出力を増減して自動で調光します。

灯具の調光と外光（昼光）のイメージ図



※明るさの設定はLiCONEXを制御するタブレット等で行います。詳細は「LiCONEX ベースモジュール」の取扱説明書ご確認ください。

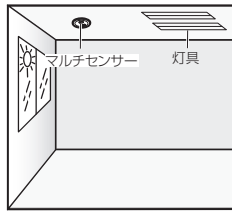
■人感センサーモード

無人のときは灯具を減光して待機状態となり、人の動きを感知すると点灯します。

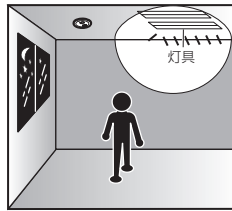
人感センサーの基本動作

※周囲が暗く、人の動きを感知したときに灯具が点灯します。

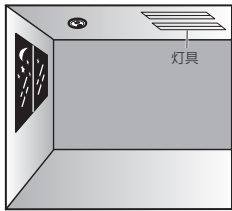
周囲が明るいときは
消灯または減灯



周囲が暗くなり人が
近づくと点灯



人がなくなると
一定時間後に消灯
または減灯

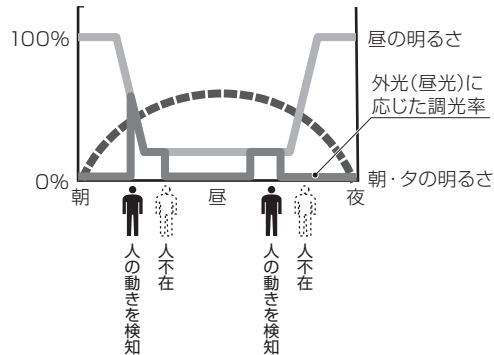


※人感センサーは熱変化を感知します。人以外の動物や温度の急変でも感知して点灯することがあります。
※周囲が暗く人感センサー動作中でも、動きが少ないときは減灯または消灯する場合があります。
※人がいなくなってからの点灯継続時間、人感センサーが起動する周囲の照度レベル、人の動きに対する感度レベル、待機状態の減光率はお好みで設定することができます。詳細は「LiCONEX ベースモジュール」の取扱説明書をご確認ください。

■照度+人感センサー同時制御モード

無人のときは灯具を減光して待機状態となり、人の動きを感知すると、外光（昼光）に応じた部屋の明るさで点灯します。

照度+人感センサーの同時制御のイメージ図

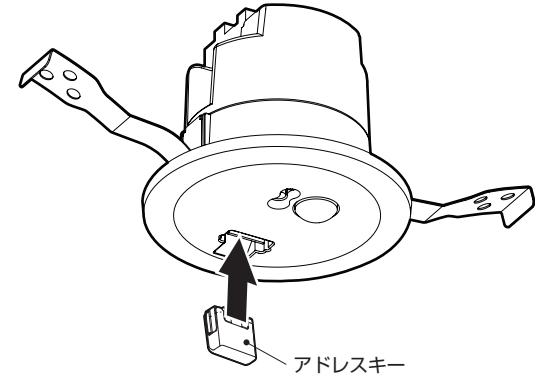


アドレスキーについて

アドレスキーには、器具個々の設定情報が保存されています。器具を交換する際はアドレスキーを差し換えることで設定情報を引き継ぐことができます。

注意

- アドレスキーは器具にあらかじめ挿入されています。抜かないように注意してください。
- 器具の交換およびアドレスキーの差し換えは、弊社営業担当または弊社指定の販売代理店に依頼してください。



取り付け場所

■高さ
床面から4.5m以内の高さに設置してください。

4.5m以内

■環境
本器具のセンサーは、周囲の明るさと温度変化を感知して作動します。下図のような環境では、正常な動作を得られない場合がありますが故障ではありません。

風などでゆれる物がある場所(植物など)

エアコンなどの送風を受ける場所

大理石の床や壁などの光の反射が強い場所の近く

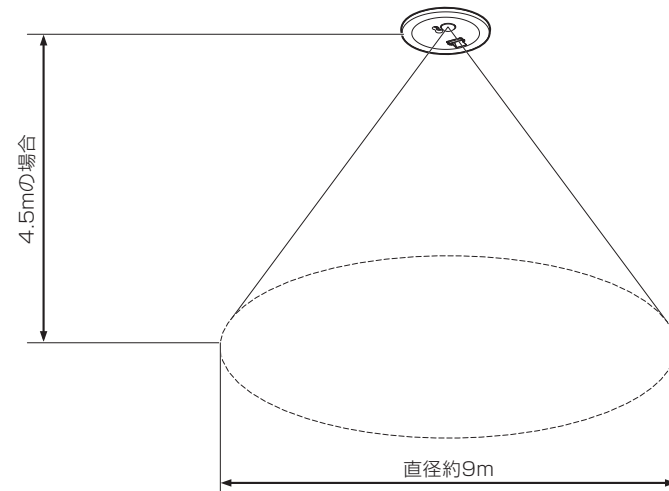
ガラスや壁越しの場所

風が吹き込む窓の近く

ストーブなどの暖房器具の近く

人感センサー感知エリア

感知エリアは参考値です。
※周囲の温度が上がる夏場など、人の体温との差が小さいときに、感知しなくなる場合があります。
※肌の露出部分が少ないと感知しない場合があります。



取り付けかた

警告 必ず電源を遮断してから作業してください。
感電の原因になります。

1 取り付け前の確認

製品の重さに耐えられるように、設置部の強度を確保してください。壁面やロックウールなどのやわらかい面には取り付けしないでください。

- 設置面に1mm以上凹凸がある場合は、ザグリをし平らにして取り付けてください。そのまま取り付けると、気密性の低下の原因になります。



2 安全確保のために電源を遮断する

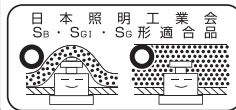
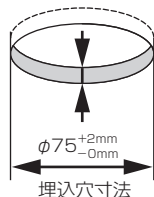
警告 電源を切らないで作業すると、感電の原因になります。

3 天井に埋込穴をあける

特殊な施工（断熱、防音等）天井に取り付けない

日本照明工業会、断熱施工用SB形ダウンライト適合品です。ブローイング工法、マット敷き工法で施工された天井に使用できます。特殊な断熱構造などの天井に施工すると、火災の原因になります。

設置部板厚：5~25mm
※石こうボードは9mm以上



注意

取付部の強度が不足していたり、埋込寸法が指定より大きい場合、器具落下の原因になるので、ダウンライトカッターの使用をおすすめします。

4 電源線・アース線を接続する

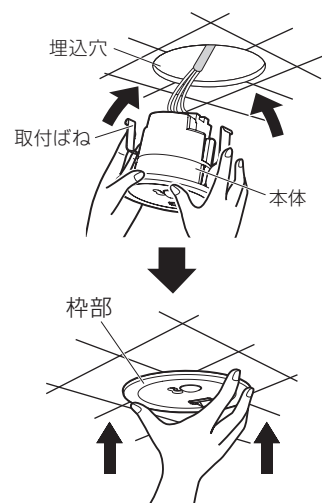
- ①電源線とアース線を、電源端子台のストリップゲージに合わせて被覆をむきます。
- ②接続穴の奥まで確実に差し込んでください。
- 外すときは解除ボタンを押しながら電源線・アース線を抜いてください。
- 送り配線は照明器具専用にしてください。（送り容量20A以下）

警告 電源線・アース線の接続（D種（第3種）接地工事）を確実に行ってください。
接続がゆるいと、電源線が抜けて器具に接触し、感電・発煙・火災の原因になるおそれがあります。



5 本体を取り付ける

埋込穴の中心を確認し、取付ばねを内側に押さえ、埋込穴に本体を挿入し、ゆっくりと枠部を押し上げてください。



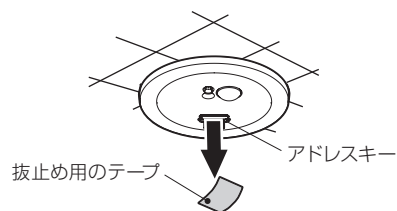
注意

本体は確実に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、落下の原因になります。

※本体を取り外す場合

本体を取り外す際は枠部をゆっくり引き下げ、両側2本の取付ばねを内側に押さえながら取り外してください。むやみに取り外すと天井材破損の原因になります。

6 アドレスキー抜止め用のテープをはがす



※抜止め用のテープは輸送時のはずれを予防するためのものです。

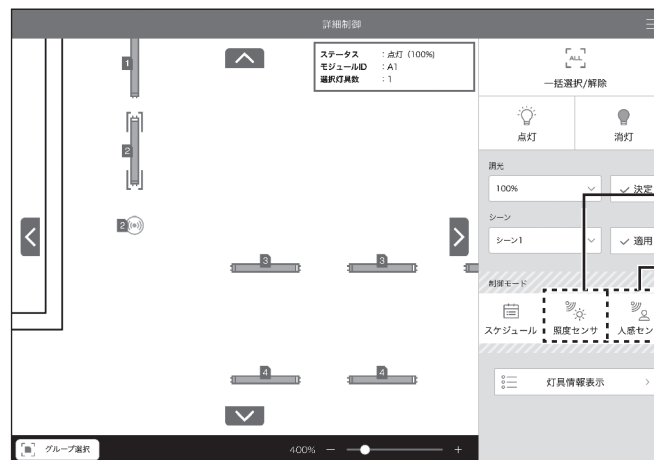
注意

アドレスキーを抜かないでください。アドレスキーが抜けかけた場合、軽く押し込んでください。

人感・照度センサー設定について

■センサーモードを起動する

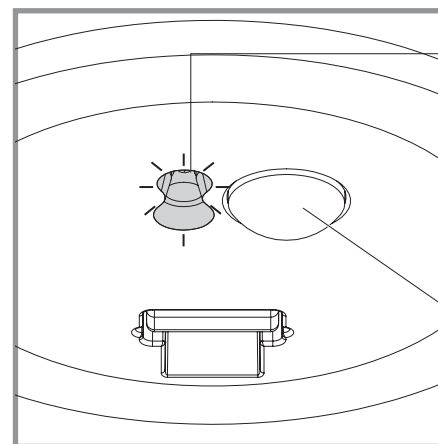
LiCONEXを制御するタブレットから、「照度センサー」「人感センサー」機能をON/OFFします。
※操作方法の詳細は「LiCONEX ベースモジュール」の取扱説明書ご確認ください。



照度センサー機能をON/OFFする

人感センサー機能をON/OFFする

各センサーモードになると、表示灯が点灯します。



表示灯

- “赤”点灯→照度センサーモード
- “緑”点灯→人感センサーモード
- “緑”点滅→センサーモードOFF
- 中継器モード（未設定時）
- “赤”点滅→異常時

人感センサー